

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場会社名 日本ファルコム
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 近藤 季洋
 (氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	861	36.4	294	512.1	295	505.3	197	537.7
25年9月期第3四半期	631	45.7	48	—	48	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	19.23	—
25年9月期第3四半期	3.01	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年9月期第3四半期	2,773	—	2,595	—	93.6	252.51
25年9月期	3,160	—	2,470	—	78.2	240.29

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 2,595百万円 25年9月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成25年9月期の期末配当金の内訳 普通配当5円00銭、記念配当2円00銭

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	3.2	750	5.5	750	5.4	460	5.5	44.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	10,280,000 株	25年9月期	10,280,000 株
26年9月期3Q	33 株	25年9月期	0 株
26年9月期3Q	10,279,976 株	25年9月期3Q	10,280,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に関する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第3四半期累計期間におきましては、東京ゲームショウにおいて日本ゲーム大賞フューチャー部門や、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント主催の「プレイステーション®アワード2013」ではユーザーの人気投票により選出される「ユーザーズチョイス賞」、ユーザーから広く支持され、かつゲーム業界の発展に多大な貢献をしたと認められる優れたゲームをファン投票により選ぶ「ファミ通アワード2013」において優秀賞など数々の賞を受賞し高い評価をいただいた、平成25年9月発売のPlayStation®Vita及びPlayStation®3向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」の販売及びその続編である「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」の開発に注力してまいりました。

これまでライセンス供与によって進めていた弊社タイトルのアジア展開を、「英雄伝説 閃の軌跡」では、弊社初の自社展開で進めました。また、平成26年に「軌跡シリーズ」は生誕10周年を迎え、様々なイベントやプロジェクトを企画、展開しました。その結果、「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」はゲーム雑誌による前評判ランキングで一位を獲得するなど、期待のゲームソフトとして高い評価をいただいております。

製品部門におきましては、PlayStation®Vita及びPlayStation®3向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」の販売が好調に推移し、「軌跡シリーズ」10周年記念タイトルである「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」の販売に向けて良好な市場環境が整いました。

平成26年6月に「英雄伝説 閃の軌跡」の繁体中国語版及び韓国語版を香港・台湾・韓国及び東南アジア地域において発売しました。特に香港・台湾・韓国では初回出荷分が完売するなど、弊社のゲームソフトはアジア地域のユーザーとの親和性が高く、多くの方々に受け入れられております。国内においても、より多くのユーザーにお楽しみ頂けるようお買い求めやすい価格に設定した「英雄伝説 閃の軌跡 スーパープライス」を平成26年6月に発売しております。

「軌跡シリーズ」10周年となる今年は、Amazonデジタルミュージックストアで軌跡シリーズの主題歌を期間限定1曲10円で販売し、アルバム・シングル共に総合ランキングトップを1週間以上独占したり、記念プロジェクトとしてオンラインストーリーRPG「英雄伝説 暁の軌跡」を発表したりするなど、今後も記念ライブなどの様々なイベントやプロジェクトを企画しており、日本のみならずアジア地域にも積極的に展開してまいります。

また、イース生誕25周年記念作品である「イース セルセタの樹海」を「PlayStation®Vita the Best」シリーズとして平成25年10月に発売し、軌跡シリーズ中屈指の人気を誇る「英雄伝説 碧の軌跡」及びサクサク楽しめるアクションの爽快感と、じっくりと物語と楽しむRPGとしてのストーリー性を融合した新ジャンル「ストーリーARPG」として誕生した意欲作「那由多の軌跡」を「PSP® the Best」シリーズとして、それぞれ平成25年10月と平成26年3月に発売しました。

その結果、製品部門の当第3四半期累計期間の売上高は395百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

ライセンス部門におきましては、海外においてPCゲームの大手ダウンロード販売サイトであるSTEAMでの当社英語版ゲームソフトの販売が好調だった他、平成25年11月に北米でPlayStation®Vita向けゲームソフト「イース セルセタの樹海」の英語版を発売し、平成26年2月には欧州でも発売しました。北米・欧州のユーザーにも好評を博しており、販売も堅調に推移しております。

国内におきましては、PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 碧の軌跡 Evolution」を平成26年6月に発売しました。ハードが販売数を伸ばしPlayStation®Vita市場が拡大したことにより、ソフトの販売も順調に推移しました。

その他にも、「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」の発売に合わせて、「モンスターハンター フロンティアG」(株式会社カプコン)や「チェインクロニクル ～絆の新大陸～」(株式会社セガネットワークス)とのコラボレーション、アニメ作品で地域振興を進めている東京都立川市商店街とのオリジナルバナーフック企画など、様々なプラットフォームやイベントにおいて当社コンテンツが提供されます。

その結果、ライセンス部門の当第3四半期累計期間の売上高は465百万円(前年同期比74.9%増)となりました。

それらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高861百万円(前年同期比36.4%増)、営業利益は294百万円(前年同期比512.1%増)、経常利益は295百万円(前年同期比505.3%増)、四半期純利益は197百万円(前年同期比537.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が575百万円増加したことに対し、売掛金が932百万円減少したこと等により2,773百万円(前事業年度末比12.2%減)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が168百万円減少したこと、未払法人税等が248百万円減少したこと等により177百万円(前事業年度末比74.3%減)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い71百万円があったことに対し、四半期純利益を197百万円計上したことにより2,595百万円(前事業年度末比5.1%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835,343	2,410,702
売掛金	1,198,438	265,784
製品	4,449	3,287
原材料	5,878	4,372
その他	49,061	23,383
流動資産合計	3,093,170	2,707,531
固定資産		
有形固定資産	8,460	8,042
無形固定資産	9,007	8,048
投資その他の資産	49,730	49,858
固定資産合計	67,199	65,949
資産合計	3,160,369	2,773,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,908	65,751
未払法人税等	297,420	48,426
賞与引当金	21,000	6,000
その他	137,875	57,485
流動負債合計	690,204	177,663
負債合計	690,204	177,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	1,986,672	2,112,360
自己株式	—	△36
株主資本合計	2,470,165	2,595,817
純資産合計	2,470,165	2,595,817
負債純資産合計	3,160,369	2,773,480

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	631,375	861,150
売上原価	126,728	132,742
売上総利益	504,646	728,407
販売費及び一般管理費	456,531	433,872
営業利益	48,115	294,534
営業外収益		
受取利息	199	226
未払配当金除斥益	499	702
営業外収益合計	699	929
経常利益	48,814	295,464
税引前四半期純利益	48,814	295,464
法人税、住民税及び事業税	4,716	72,721
法人税等調整額	13,106	25,094
法人税等合計	17,822	97,815
四半期純利益	30,992	197,648

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。